

検査科当直者の夜間救急診療への参画

諏訪部 桂¹⁾, 田野 光敏¹⁾, 谷崎 義生²⁾, 美原 盤³⁾

1)公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 検査科

2)公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 救急部・脳神経外科

3)公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 院長

【はじめに】

当院は群馬県伊勢崎市に位置し、脳卒中を主とした脳神経疾患専門の急性期 45 床、総病床数 189 床のケアミックス型病院である。年間救急搬送件数は約 1000 件、当該管内における脳疾患救急占有率は約 50%、年間脳外科手術は約 300 件で、地域の救急医療の一端を担っている。検査科は夜間当直帯を中心に救急診療に参画しており、その活動について報告する。

【取り組み】

救急患者に適切に対応するため、年数回の院内 BLS 講習や、ICLS、ISLS の受講に取り組んでいる。

【夜間業務内容】

救急搬送時は事務当直者より検査科当直者に連絡が入り、救急室へ出向、血圧・SpO₂等装着、採血、心電図検査を実施、画像検査へ患者搬送。ウォークインの外来患者に対しても検査科当直者が採血を実施。入院中の患者の急変時、病棟夜勤看護師が採血した検体は検査科当直者が回収し、直ちに検査を実施。インフルエンザ迅速検査はすべての患者に対し検査科が実施。

【考察】

夜間という人的資源が限られている時間帯だからこそチーム医療が重要となる。その一環として、検査科当直者は夜間の救急車、外来、入院患者の救急診療に積極的に関わっている。今後も当院に合った形で救急診療に貢献したいと考えている。